

公の施設目標管理シート（直営）

問合せ先	0256-72-8844 (岩室地区公民館)
------	------------------------

年度	令和5年度
施設名	新潟市岩室地区公民館
所管部・課	新潟市中央公民館
施設の設置目的	市民のために、実際生活に即する教育、学術及び文化に関する各種の事業を行い、もって住民の教養の向上、健康の増進、情操の純化を図り、生活文化の振興、社会福祉の増進に寄与することを目的とします。

当初予算(千円)		当初人員(人)		作成日	R5.7.18
歳入	632	正職員	3	修正日	
歳出	10,874	会計年度任用職員	1	評価日	R6.7.24

No.	視点	目標	評価指標					参考・補足	主な事業等	目標達成状況 未達成理由	評価	
			項目	R2実績	R3実績	R4実績	R5目標					R5結果
1	市民	学習施設として、広く市民の方から目標値以上に利用してもらうことを目指します。	年間利用者数1万人以上(単位:人)	6,743	6,546	9,847	10,000	10,949	岩室・間瀬地区公民館の利用者数(新型コロナウイルスの影響を考慮し、昨年実績とした)	岩室地区公民館 10,866人 間瀬公民館 83人	設備故障で一部貸館できない状態ではあるが、コロナ過前のように活動も徐々に戻りつつあり利用者が増加	B:達成
2	市民	地域コミュニティづくりをすすめ、地域団体(コミ協、自治会、育成協、など)と共に学習の場を作り出す。	地域団体等との連携事業数(単位:件)	3	3	4	3	4	コミュニティ協議会、自治会、青少年育成協議会、スポーツ振興会、岩室児童館	子供体験教室(竹灯ろう、はねアート、食品サンプル、ミニ門松づくり)、ふるさとの伝統(篠笛講座)、キャンプ飯、バッククッキング	コミ協、育成協といった地域団体と連携・協力しながら事業を実施	B:達成
3	市民	地域と学校と協働した講座を開催し、ネットワークづくりを支援します。	出前型講座(単位:回)	0	3	1	3	1	岩室小学校1、和納小学校1、岩室中学校1	シニア向けスマートフォン教室(和納小) 文化部活動(焼き板・翼アート)に指導協力(岩室中)	職員体制を踏まえながら、地域教育コーディネーターと連携を図り、学校を会場に実施。別途、中学校文化部活動に指導協力を継続して実施	C:未達成
4	財務	効率的な施設運営を行い経費削減に努めます。	運営コスト(1人当たりの光熱水費)300円以下(単位:円)	437	484	375	370	368	光熱水費(灯油、電気、ガス、水道)の1人あたりのコスト(岩室・間瀬地区公民館)(新型コロナウイルスの影響を考慮し、昨年実績とした)	電気 2,432,464円 灯油 1,217,561円 ガス 93,796円 水道 282,186円	電気料等の高騰で厳しい状況が続いたが、利用者が増えたため、一人当たりの運営コストは目標を上回ることができた	B:達成
5	業務	災害などに迅速に対応できる体制づくり	防災訓練を年2回以上実施(単位:回)	2	2	2	2	2	防災訓練を2回以上実施する。(岩室・間瀬地区公民館)	年2回防災訓練(通報、消火、避難訓練)	10月、2月に利用者と共に避難訓練を実施	B:達成
6	業務	市民の方から安心して利用していただける施設運営を行い、事故防止に努めます。	施設利用者の事故発生件数を0(単位:件)	0	0	0	0	0	施設利用者の事故防止に努め発生件数0とする(単位:件)	S54竣工施設のため、設備関係の維持管理に重点を置く	日常点検を行い早期発見、早期修繕を行った	B:達成
7	人材	施設目標を達成するうえで、必要な知識やスキルの向上を図ります。	人材研修を年間3回以上実施(単位:回)	3	3	3	3	3	公民館全職員を対象に研修を実施	コンプライアンス、情報セキュリティ、ハラスメント研修	研修による再確認と職員同士の情報共有を図った	B:達成
8	市民	公民館事業(講座)の満足度	事業終了後の満足度80%以上(単位:%)	94	98	95	90	92	令和4年度からの追加項目(講座参加者のアンケート実施)	子供体験教室、篠笛講座、小学校出前講座 家庭教育学級、法律講座、大人のものづくり講座、お父さんのキャンプ飯講座、オンライン講座、だれでもピアノ、文化祭、芸能発表会など	事業のアンケート結果の平均満足度は92%となり参加者の評価は概ね高かった	B:達成
9												
10												

取り組みについて(目標設定の考え方など)	総合評価 (評価を踏まえた課題分析・方向性など)
<ul style="list-style-type: none"> 地域活動・サークル活動の拠点として、地域コミュニティ活動の活性化に寄与します。 利用者数・稼働率の向上を目指し、市民にぎわい親しみやすい公民館を目指します。 地域の人材を活用し、ボランティア講師をお願いするなど工夫して経費削減に努めます。 地域と学校、社会教育施設が協働する事業を展開します。 	<ul style="list-style-type: none"> 定期利用団体が利用者の高齢化に伴い減少したり、施設設備の故障などの影響で他の施設を利用している団体があるなどする半面、親しみやすい事業を行うなど稼働率向上につとめ、公民館利用者数が増加した。 新たに、地域の事業者の施設を利用しアウトドアの講座を実施したりするなど、今後もアンケートや地域の利用者の要望などを踏まえて、ニーズを的確に捉えた事業を計画し、広報を工夫し利用者増を図り、公民館の利用促進を図ってきたい。 施設の老朽化の進行により修繕が必要な設備などが増えてくる状況であるが、定期的な点検や適正な施設管理を行いながら、可能な限り経費削減に取り組んでいきたい。